

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



郡司 浩平

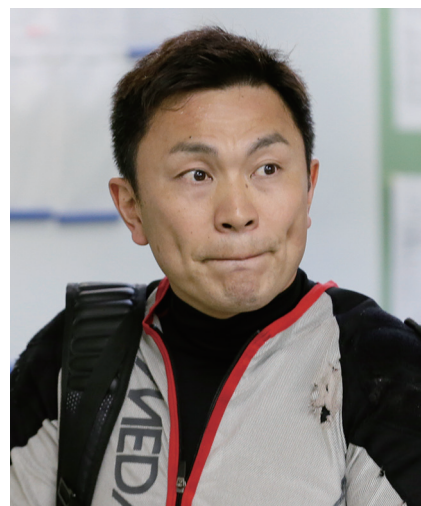
(神奈川/99期)

地元の桜花賞があつて、そのあと(地元地区の)ダービー。そこまで時間がありそうでない。結果うんぬんよりも悔いのない、万全の状態で臨みたい。松山記念の前にインフルエンザにかかって、自分ではそんなに良くないと思ったなかで戦った。だから、これからもっと良くなってくる感じがある。

勝瀬 卓也

(神奈川/84期)

やっぱり地元なんでね、ブロックセブンだけ応援してくれる人があるんでしっかりとって思ってます。去年、大怪我をして、まだ自信がもてる状態ではないけど、ちょっとずつ良くなってはきている。小松崎(大地)君がいるんで、差せるか、差せないかの勝負ができるように頑張りたい。



田中 誠 (福岡/89期)

1着こそ少ないが、安定感は抜群。今年は平の決勝2着でスタートすると、大宮記念でも決勝に勝ち上がっている。九州勢はやや機動型が手薄ではあるが、目標不在のレースほど狙ってみたい選手だ。



元砂 勇雪 (奈良/103期)

積極的にバックを取るレースに、最近は結果もついてくるようになってきた。3月松山記念の二次予選では逃げ切って約9カ月ぶりの勝ち星。格上相手でも大駆けがありそうだ。



松井 宏佑 (神奈川/113期)

2月静岡記念の3日目から9連続で連にからみ、3月福井では無傷でS級初優勝を飾った。S級の流れにも慣れ、上位陣を脅かすダッシュは魅力。今シリーズの南関勢にとっては貴重な戦力になる。

S級ブロックセブン

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

機動力優る小松崎大地が主役を務める。直近の4月京王閣で完全Vと順調そのものな小松崎。決勝は目標があつてのレースだったが、“踏み出しは良かった”と鋭いまくりを連発していただに、ここもタイミングを図っての仕掛けで人気に応えよう。小松崎にはホームの勝瀬卓也が食い下がる。

対する水谷好宏は2年近く優参がないが、3月松山記念で準決に進出など最近の動きは悪くない。松山記念を2連対と売り出し中の今野大輔とともに、好機に発進を決めれば波乱を呼ぶことも。

小松崎大地の
首位有力

4/21 (最終日) 6R



小松崎 大地